

サル舎 NEWS Vol.6

ワオキツネザル編

ルナ、25歳になりました！

2月にルナは25歳になりました！ワオキツネザルの寿命は野生下では約15年、飼育下では約25年といわれています。最近、ルナを見ていると、「おばあちゃんになったな～」と思うことが増えました。一緒に暮らすキンカンやサンゴと比べると、移動のスピードが遅かったり、止まり木の上り下りに時間がかかったりします。担当者が思うルナの長寿の秘訣は、よく食べるということ！！一番に食べ始め、最後まで食べるルナをよく見かけます☆これからもルナらしく、よく食べて、ゆったり日向ぼっこをして、長生きしてほしいなと思っています。

☆ 祝 25歳 ☆



サンゴと日光浴中。



シロテテナガザル編

最近のシロマティーの様子

2024年2月9日にクロマティーが推定39歳で亡くなりました。ずっと一緒に過ごしてきたシロマティーの様子を多くの来園者の方に気にかけていただいています。幸い、シロマティーはよく食べ、今までと同じ位の頻度で歌い、担当者と遊んで笑い、元気に過ごしています。シロマティーが歌っていると、クロマティーを探して鳴いているの？と言われることが多いのですが、頻度的にはクロマティーがいたときと同じ位だと思っています。もちろん、シロマティーなりに何かを感じていると思いますが、今までと変わらない様子で過ごしているシロマティーを温かく見守っていただけたら嬉しいです。

クロマティーの追悼写真展を5月12日まで実施しています。ぜひ、クロマティーの写真も見ていただけたらと思います！



ペットボトル
フィーダーに
取り組む
シロマティー



マンドリル編

齧るの大好き！

マンドリルは齧ることが大好きです。毎日園内で剪定した枝葉や造園業者から寄付でいただく枝葉を与えていますが、毎日粉々になるほど齧ったり、食べたりしてくれます。当園のマンドリル舎は寝室、グラウンド共に木のやぐらがあります。やぐらは意図的に木で作っています。それは、やぐらも齧っていいよ！という意味を込めて、あえて“木”なのです。先日、マンドリルたちが一生懸命齧ったやぐらの丸太を一部交換しました。この丸太はいつまで持つのか・・・どのくらいのスピードでボロボロになるのか・・・注目したいと思います。寄付で枝をいただけることで、たくさん枝をマンドリルに与えることが出来ています。寄付して下さる造園業者の皆様に感謝申し上げます！



やぐらの丸太を交換しました☆



←齧るの大好き！



フサオマキザル編

元第1位オス、トンキチについて

10月30日、突然今まで10年以上第1位オスだったトンキチとその弟カンタとの間で闘争が起こり、カンタが第1位オスになりました。トンキチは12月22日に闘争でケガを負ってしまい、入院していましたが、トンキチ自身の頑張りや獣医師の懸命な処置のおかげで2月末にサル舎に帰ってきました。詳細は当園のInstagramをご覧ください。と思います。

トンキチは3月初旬から、群れで順位が低い娘のタマキと2頭での生活を始めました。2頭とも落ち着いて生活しています。カンタとトンキチはお互いの存在を意識しており、カンタがかなりの頻度でディスプレイをする様子が見られます。カンタもトンキチも落ち着いて過ごしてほしいのですが…。今後も注意深く観察していきたいと思います。



←
タマキ（左）
と
トンキチ（右）

